

受験番号	氏名

注意 字数が指定されている設問については、「、」「や」「。」も一マス使いなさい。答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

- ① 次のそれぞれの間 に答えなさい。(同じ記号は二度使わない。)
 I 次 に示す動物に関することわざ・慣用句に 適する語を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。
- ① 「 」をかぶる…本性をかくしておとなしくすること。
 ② とびが「 」を生む…平凡な親がすぐれた子を生むこと。
 ③ 「 」の耳に念仏…他人の意見を少しも聞き入れないこと。
 ④ 泣き面に「 」…困っているところにさらに悪いことが重なること。
 ⑤ 「 」につままれる…わけのわからない様子。
 ⑥ 「 」の涙…ほんのわずかしかないこと。

選択肢	ア 馬	イ 犬	ウ すずめ	エ 狐
	オ 鷹	カ 蜂	キ 猫	ク ねずみ

- II 次の空欄に 適する語を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。
- ① 明日は「 」雨だろう。
 ② 「 」失敗したとしても後悔しない。
 ③ 試験の結果については「 」心配していない。
 ④ 「 」自分で考えついたかのように言う。

選択肢	ア たとえ	イ 少しも	ウ おそらく
	エ あたかも		

② 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

山里は冬ぞ寂しさまさりける人目も草もかれぬと思へば

*源宗于(古今集・冬・三一五)

山里は冬が最高に寂しい。草も枯れ、誰もよりつかなくなってしまうと思うと。

冬は死の季節です。命あるものの多くが、死に絶えたり、あるいは休眠状態に入ったりして活動範囲を狭めます。きらびやかなもの、⑦彩り鮮やかなものは、少なくとも自然の中にはひどく⑧乏しくなる。そんな季節に、いったい何を歌えばよいのでしょうか。和歌はとくに、自然の風物の美しさと、それに対する人々の共感を大事にする詩だというのに。

宗于の歌を見てください。まず最初に、「山里」というものは、冬こそ寂しさがまさるのだったなあ」と言っています。いきなり結論が出された、という感じですね。でもちよつと言葉を補っておきましょう。⑨「山里」は山であつて、人が住んでいる場所です。でも、日本アルプスの麓の村などを想像してはいけません。

平安時代の人の意識としては、京都近辺の山——平安京は、南以外、すべて山に囲まれていますね——、東山とか、嵯峨野とか、大原とか、そういう場所を指すことが多かったのです。何だ、ずいぶん近郊だなあ、と思うでしょうか。たしかに現在なら⑩シガイチの隣という感じですが、そのころはずつと辺鄙な場所でした。

いや、辺鄙というなら、もつとずつと遠いところがあるだろう、と思うかもしれません。けれどどうでしょう。私たちも外国などへ旅行に行った時、ずいぶん違う場所へ来た、とは思ってても、遠いところへ来た、という距離の感覚は意外に薄いのではないですか。逆に、散歩をしていて見知らぬところへ出てしまった。ああ、ずいぶん遠くまで来たと思うのではないのでしょうか。ここで大事なのは、普段の、あるいは普通の生活からの距離感なのです。一日二日で行けるだけに、かえって心理的に

遠く感じてしまうのです。宗于がこの時どこにいたか、それはわかりません。でも⑪この歌の「寂しさ」には、そういう感情が基本にあつたはずですよ。

何といつてもこの歌の*眼目は、下の句「人目も草もかれぬと思へば」にあります。「人目」は現代でも使う言葉ですが、ここでは、人がやってくることで、人の出入りの意味だと考えないで、わりによくあります。「草」は雑草ではなくて、萩や女郎花・薄などの草花を思い浮かべるとよいでしょう。秋には、草花を⑫カシヨウしに、人々が訪れてきていたのですね。

さて問題は、「かれぬ」と「ぬ」は完了の助動詞の終止形です。⑬「かれ」は「枯れ」と「離れ」の二つの意味をもたせた掛詞です。「離れ」は本来密接な関係のあつたものが、疎遠となつていくことを表す動詞です。これと「枯れ」が重なっている。なんだ、駄洒落じゃないか、日本人は千年以上も前から駄洒落が好きだったのか、と私も高校生のころ思いました。ただそこでとまらないで、もう一歩進めてください。何と何が重なっているか、味わってほしいのです。

掛詞というのは、ただ一語と一語が重なっているだけではなく、二つの文脈が重なっているものなのです。この場合なら、草花が枯れること、人の出入りが遠のくことです。掛詞の多くが、風景と心情との二つの文脈が重なるのですが、ここもやはりそうです。「離れ」というのは心情そのものではありませんが、孤独感という心情の直接的原因になりますから、広い意味でなら心情にかかわる言葉といえますね。しかもこの場合、草花が枯れたからこそ人が来訪しなくなる、という原因と結果の関係にもなっています。それだけではありません。掛詞にはしばしば無理が伴います。それはそうでしょう、本来関係ない二つの文脈を、強引にくっつけてしまうのですから。しかし、「人目も草もかれぬと思へば」は、非常に自然な言葉の流れを作っています。⑭掛詞の傑作といつてよいと思います。

あなたが、これまで味わつたことのない、そして多くの人も知らないだろう孤独感を体験した、とします。それをどう言葉で伝えるでしょうか。自分の過去の体験に照らして表現することはできない。しかも人の言葉を安易に使うわけにもいけません。共感を得ようとすれば、自分が感じた自分一人の感覚は消えてしまう。掛詞を支えるのは、偶然の言葉の出会いです。一回限り、という感覚です。今の自分の状況(A)を表す言葉と自分自身のあり方(B)を表す言葉とを偶然に出会わせることで、他者と共感できる自分固有の心情が表せる、それが掛詞のすごさといつてよいのです。

*源宗于・・・光孝天皇の皇子、是忠親王の子。紀貫之と交友が知られる。

*眼目・・・物事の肝心なところ。

- ① ———の部分、②、④、⑤、⑥のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方を答えなさい。
- ② 空欄A・Bにそれぞれ適当な語を、本文中から漢字二字で抜き出して答えなさい。

③ 「⑩「山里」は山であつて、人が住んでいる場所」とあるが、平安時代の人が考える「山里」はどのような場所か。本文中から六字で抜き出して答えなさい。

- ④ 「⑭この歌の『寂しさ』」にあてはまるものは次の(1)、(2)のどちらか。記号で答えなさい。
- (1)外国に行ったとき、ずいぶん違う場所へ来たという感覚。
 (2)散歩のとき見知らぬ場所に出て、ずいぶん遠くまで来たという感覚。

(渡部泰明『古典和歌入門』)

⑤ 「㊦「かれ」は「枯れ」と「離れ」の二つの意味をもたせた掛詞です」とあるが、この歌の掛詞の二つの文脈の意味を本文中から八字と十一字で抜き出して答えなさい。

⑥ ⑦掛詞の傑作といつてよいと思います」とあるが、筆者がそのように考える理由として最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

(1) 本来関係ない二つの文脈をくつつけたにもかかわらず、自然な言葉の流れを作っているから。

(2) もともと関係のある二つの言葉をくつつけたので、言葉の流れが非常に自然になっているから。

(3) 昔から駄洒落好きな日本人が技巧を凝らして詠んでいるから。

(4) 過去の体験と現在の情景が、一瞬にして目に浮かぶような言葉の流れだから。

③ 次に示す文章は昭和三〇年代に長崎県で少年時代を過ごした「僕」を主人公とした小説の一部分である。本文を読み、後の問に答えなさい。

「敵を知り己を知らば百戦危うからず」

父はそう負け惜しみを言った。この頃にはもう、父の胸の中でも戦争は過去のものになりつつあったのではないだろうか。

それでも戦地で命を削った父には戦場跡は心に痛いもののようにだ。大人になって会社の旅行でグアムかサイパンの旅行を提案した際、父は言下にサイパンには行かない、と言った。

「なぜ」と尋ねたとき、父は沈んだ声で、

「*同胞が*玉砕した島でゴルフをしたり、おいしい食事をする気にはなれんのだよ」と答えた。

僕は南の海が大好きだが、この父の一言で以後「同胞の玉砕した島」へは遊びに行かない、と決めた。

行くときは観光でなく、⑦慰霊の旅でなければならぬ、と。

⑧昔、父は先の戦争を後になって思想的に批判する人達を悲しんだ。

「後からだったら何でも言えるんだよ」と肩を落とした。そうしてこう続けた。

「兵隊に行った経験者で、あの戦争の愚痴やら兵隊の悪口を言う人達はね、たぶんみんなその頃は駄目な兵隊だったはずだ。

⑨勇敢で良い兵士はみんな家族を思っ先死んでいったものね。そういう兵士の生命の痛みを知っている人間は、たとえそれが事実であろうとも、仲間や軍隊の悪口など言わないものだ。兵士というのはそういうものだよ」

僕は伊良林小学校に通っていた頃、友達に誘われて一度だけ軍艦を観に行ったことがある。第七艦隊の旗艦が入港した、とみんなが騒いでいたからである。その船の名は「ミサイル巡洋艦プロビデンス」。

軍艦に興味はなかったけれども、僕は出島の岸壁へ行く道筋が好きだった。

昔、長崎駅から出島の古い倉庫群を抜けて岸壁まで一本の引き込み線路があった。これはトーマス・グラバーが敷いたといわれる日本最古の鉄路のラインで、友達と出島の港まで行くとき、僕たちは⑩いつも長崎駅からかつての水産ビルの前、現在はその跡地にホテルニュー長崎が建っているが、電車通りから港側にあった、当時日本三大漁港のひとつと言われるほどの水揚げ量を誇った長崎の水産場の脇を抜け、グラバーの線路を通って出島岸壁へ向かった。

途中、中島川の最下流を渡る鉄橋があり、僕らは「グラバーの鉄橋」と呼んだ。

(中 略)

僕は友達と一緒にプロビデンス号に上がったが、そこで一人きりになってしまった。つまり数人の仲間とはぐれたのだ。艦内の細い通路の薄暗さや、機械油の匂い、それまで嗅いだこともない甘い香水の匂いや得体のしれない革のような匂いが混ざっていた。戦艦の艦内は広く、歩いていても歩いてても友達とは巡り会わなかった。

日本人の大人たちは無表情にそこいらを歩き回り、甲板へ出ると砲身の部分を帆布だか、厚手のナイロンだか⑪ソライはわからなけれど、水色の覆いをかけてある主砲の辺りをさすったり覗き込んだりしていた。

陸着けた反対側の甲板に回って海を覗き込むと、クラゲのようなものがたくさん浮いているのが見えた。すぐに飽きて帰り道を探していると友達に会った。

「なんか貰うたとか？」擦れたような目つきになった友達がなぜか見下すようにそう言った。見ると彼のズボンの両方のポケットは何やらお菓子で膨らんでおり、大きなキャンディを片手に持って左手にはチュウイングガムをヒラヒラさせた。

「いや」

「ギブミーって言え。お菓子ばくれるけん」

ほら、と友達は近くにいた水兵の方へ僕を押し出した。

菓子がほしくないわけではない。喉元までその呪文が上がってきているのだが、見知らぬ人にものをねだる、という方法は、仮に生活は苦しくても我が家の考えの中には存在しなかった。言葉が出てこず僕はもじもじと自分のズックを眺めた。

ガムを噛みながら僕の顔を眺めていた白人の大きな水兵は、何か口の中でつぶやくとどこかへ行ってしまった。⑫友達は僕に同情した。

「おれが貰うてやるけん、ついて来い」といつの間にか彼はボスのような口調になった。

「黒人の方がやさしかぞ」

そう言いながら砲身の近くにいた水兵にその呪文を告げると、その水兵は顔を崩して笑い、ポケットから板チョコを取り出して友達に向かって放り投げた。受け取った友達は嬉しそうに僕のそばに戻ってくると、先程貰った板チョコを僕に投げてよこした。

そしてガイジンのように片目をつぶってみせると、

「俺はもうちよっと稼いでくるけん」と、あつという間にどこかへ去った。

僕は緊張してそのチョコレート胸に抱いた。⑬何か犯罪にならない悪事を働いた気がしていた。⑭アワてて船から下りた。

出口で水兵が二つ折りの小さな紙切れを配っていた。ちらりと見たら、それは「プロビデンス号」の葉だった。僕はそれを受け取り、ポケットの中に押し込んで船を離れると、そっと手の中のチョコレートを見た。

チョコレート色の包み紙の表紙に「HERSHY'S」と銀色の文字で書いてあった。

そのチョコレートがアメリカの有名なチョコレートだと知ったのはずっと大人になってからだ。

弟と妹の嬉しそうな顔が浮かんで消えた。当時の子供達はなかなか甘いものが手に入らなかったのである。カステラは高級なお菓子だったし、せいぜい一円で二、三個買った芋飴やら、ちよつとぜいたくな米菓子「ビガー」が精一杯で、チョコレートなどほとんど食べられなかった。

HERSHY'S

それをなんと読むのか知らなかったが、絶対においしいに決まっていた。嬉しさに倉庫群をスキップしながら歩いた。

ふとひんやりと風が吹いた。

このチョコレートを投げてよこしたときの水兵の眼差しを思い出した。その前に僕が言葉を失って黙って立っていたときの白人水兵の目つきも。

*同胞…同じ国の人同士。(ここでは日本人のこと)。

*玉砕…いさぎよく死ぬこと。

(さだまさし『かすていら』一部改変)

① ———の部分⑦、⑧、⑨、⑩のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方を答えなさい。

② 「⑩いつも」が修飾している語を単語で抜き出しなさい。

③ 「①昔、父は先の戦争を後になって思想的に批判する人達を「悲しんだ」について、父がそのように感じたのはなぜか。その説明としてあてはまるものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1)戦争に行った経験のない人たちの、想像に基づく批判ではないから。

(2)戦死者をはじめとする戦争で苦しんだ人々への思いやりがない批判だから。

(3)戦地となったグアムやサイパンに旅行したことの無い人たちの批判だから。

(4)戦争中に自分自身は勇敢な兵隊ではなかったということを、認めようとしていない人たちによる批判だから。

④ 「⑦友達には僕に同情した」について、「友達」が「僕」に同情したのはなぜだと考えられるか。三十文字以内で答えなさい。

⑤ 「⑩何か犯罪にならない悪事を働いた気がしていた」について、この時の「僕」の気持ちは具体的にどのようなものだったと考えられるか。その説明としてあてはまるものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1)他人にものをねだるといって、自分の家族が嫌うであろう行為を自分がしてしまったことに對する後ろめたさ。

(2)アメリカの水兵からお菓子をもらったことを、周りにいる大人たちにとがめられないかという恐ろしさ。

(3)自分がお菓子をもらうために友達を利用してしまったことへの申し訳なさ。

(4)弟や妹も食べたいであろう珍しいお菓子を自分だけが食べて良いのかという迷い。

⑥ この小説の結末は省略しているが、このあと「僕」はチョコレートをどうしたと予想できるか。二十文字以内で答えなさい。

④ 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

しゃべることを学んだ時期が年齢的に遅かったせいか、私の英語は今でも訛なまりがある(もつとも、私の日本語にも東北訛が消えない)。RとLの発音の違いがどうしてもわからず、担当の教師を泣かせた思い出があり、これも直っていない。

自分の訛を誇りにしているわけではない。しかし私は、⑦それでよいと思っっている。それどころか、多少の訛はあった方がむしろよいのではと感じている。それは私の四〇年にわたる国連生活の経験に基づいてのことである。

もちろん、あまりにひどい訛や、発音は問題にならない。しかしアメリカ人や、イギリス人の訛を無理に①モホウする必要はないと考える。だいいち、この人たちの間でも発音の違いはかなりある。アメリカ人の発音が九〇パーセントはわかるという自信をもって渡米した私だが、アメリカ南部にいて、一般民衆のしゃべる南部米語の四〇パーセントもわからず、少なからず衝撃を受けた思い出がある。またアメリカ人の中には、イギリス訛の英語に對して劣等感をもつ人が少なくないのも、その後知ることができた。

国際政治の⑨檜ひのき舞台である国連では、世界中の人々がそれぞれ、お国訛の英語やフランス語で話し合い、議論を交わし、交渉している。それぞれ一級の英語ではあるが、④カンペキとはいえない。そんな英語で堂々と話している。歴代の国連事務総長にしても、みんな訛のある英語を話していた。

国連で尊敬される人は、英語を含む外国語が流暢りゅうちやうだから尊敬されるのではない。むしろ、その人のいうことが、公平で正しかったり、複雑な事柄を納得できるしかたで分析することができるところからである。考えが一人よがりだったり、一〇〇パーセント自国中心だったりすると、いくら⑩雄弁でも、多くの人々の支持や理解は得られない。

たしかに言葉は大事である。言葉で人を殺すことさえできる。それをきちんと論理的に、時には比喻や皮肉やユーモアを⑦交えながら表現できることは重要である。しかし、こうした場合、言

葉はあくまで内容を伝えるための手段であり方法であることを忘れてはならない。言葉は道具であって、決して内容や理念に代わりうるものではない。

⑤ 言葉は多くの場合、手段にとどまるのだが、それが目的となることもある。外国の文化や文学を一つの体系として学ぶ場合がそうである。

また言葉の背後には一つの文化、完結したものの考え方と感じ方が存在している。だから言語は文化の扉を開く鍵である。わびとか、さびという言葉には、ある時代の日本文化の真髓が反映しているともいえよう。

しかし現代英語は、一種の*エスペラント、合成語として、国境を超えたコミュニケーションにとり、かけがえのない手段になっている。英語を母国語とする人は約四億人、英語を外国人として話す人も四億人といわれている。インターネットによって世界は密接に結ばれるようになったが、それが英語の重要性をさらに倍加させている。ある程度の英語力がないと、グローバル化している世界についていくことは不可能に近い。

*エスペラント：一八八七年にポーランドの眼科医ザメンホフが考案した人工的国際語。ここでは、世界共通語のこと。

(明石康『英語とわたし』)

① 部分①、②、③のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方を答えなさい。

② 「⑦それでよいと思っっている」とあるが、どのようなことを言っているのか。当てはまるものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1)英語を学ぶ時期が遅かったので、どうしても正しい発音ができずつらい思いをしたこと。

(2)発音の悪さで担当の教師を泣かせてしまったことは、今では良い思い出であること。

(3)英語に訛があることは、自分の日本語に訛があるからで仕方がないこと。

(4)英語に訛があっても、必ずしも直す必要はないと考えていること。

③ 「⑨檜舞台」、「⑩雄弁」の意味を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

⑨ 檜舞台

(1)歴史と伝統のあるおごそかな場所。

(2)自分の腕前を表す晴れの場所。

(3)だれもが出たがるあこがれの場所。

⑩ 雄弁

(1)人に感動を与える巧みで力強い話し方。

(2)相手を圧倒しようとする一方的な話し方。

(3)自分が優れていることをアピールする話し方。

④ 「⑤言葉は多くの場合、手段にとどまるのだが、それが目的となることもある」とあるが、言葉が目的となる場合を本文中から二十五文字以内で抜き出して答えなさい。

⑤ 英語は、外国の人とコミュニケーションを取るうえで、どのような役立つと思いますか。「英語」「グローバル化」という語を必ず一度は用いて七十五文字以内であなたの考えを書きなさい。

	受験番号
	氏 名

1

I

①

②

③

④

⑤

⑥

II

①

②

③

④

2

①

ア

リ

②

A

B

イ

シ

エ

カ

③

④

⑤

8字

11字

⑥

3

①

ア

ウ

オ

ク

ケ

②

③

④

⑤

⑥

4

①

エ

カ

える

②

③

ウ

オ

④

⑤

